

7 キンランカノコ

(アマオブネ科)

兵庫県ランク:A

Clithon souverbiana

環境省ランク:NT

種の概要

三浦半島から南西諸島に分布し、外洋の影響のある内湾の干潟から潮下帯アマモ場に生息する。殻長5mm前後の小形で歪んだ卵球形。殻質は薄く、殻表は平滑で光沢があり、黄白色の地に白斑や断続的な赤茶色い縞とともにレモン色の色帯を有する。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。洲本市の内湾において、潮間帯最下部から潮下帯のアマモ葉上に生息するが、生息地は限られ、生息数も少ない。アマモ場の岸に近い群落周縁部にある比較的若くてきれいなアマモ葉上に限って見られる。群落中央部の葉の長いアマモが密生する場所にはモロハタマキビ(貝類Cランク)が生息する。

保護上の留意点

黒潮の影響する内湾的環境下に生育するアマモ場に生息することから、淡路南・東部のアマモ場を保全する。



【執筆者】 川淵千尋